

2015年9月7日

関係各位

千代田化工建設株式会社  
IR・広報・CSR セクション**再生医療等に用いる GMP ベクター製造施設の EPC 業務を受注**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市 代表取締役社長:澁谷 省吾)は、株式会社アイロムグループ(本社:東京都千代田区)より、再生医療・遺伝子創薬に用いる臨床用ベクター<sup>\*1</sup>を製造する施設の設計、調達、建設(EPC)業務を受注したことをお知らせします。

1. 顧客名: 株式会社アイロムグループ
2. 案件名: 「GMP<sup>\*2</sup>ベクター製造施設建設工事」
3. 建設地: 茨城県つくば市
4. 完成時期: 2016 年末
5. プロジェクト概要 :

本件は、iPS 細胞作製技術に代表される再生医療領域や遺伝子治療・ワクチンの開発を行う遺伝子創薬領域において、顧客子会社の(株)IDファーマが保有する強固なベクター技術を用い、「センダイウイルスベクター」を用いた GMP 基準のベクター製造施設を世界で初めて建設するものです。

当社は、現在推進中の中期経営計画(「時代を捉え、時代を拓く」)の一環として、今後成長が見込まれるライフサイエンス分野を、当社が様々な分野で培ってきた経験とノウハウを活かした付加価値を提供できる分野と位置付け、組織の拡充を含めた積極的な施策を展開しております。

今般、世界初の施設のコントラクターとして選ばれたことは、コントラクターの枠にとらわれずに、顧客の再生医療領域や遺伝子創薬領域における開発製品の速やかな商業化への支援を含めた期待の表れと捉え、臨床用ベクターの製造開始に向けて本施設の完成に万全を期してまいります。

\*1 ベクターとは、治療用の遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内へ導入する働きを持つ物質のことです。その中でも本件で取り扱う(株)IDファーマが独自に開発した「センダイウイルスベクター」は、従来のベクターとは全く概念が異なる RNA を骨格とするもので、臨床研究や動物実験を通じ安全性の高さが確認されている他、遺伝子医薬品やバイオ製品分野での利用に高い信頼性と実績を有しております。

\*2 GMPとは、Good Manufacturing Practice のことで、医薬品や医療機器の安全性を確保するために、製造設備とその管理、品質管理、製造管理について製造業者が守らなくてはならないことを明確にした基準のことです。日本では、厚生労働省による省令によりその基準が示されております。

以上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝  
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962  
URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>